

P-D-1

パクリタキセルに伴う末梢神経障害に対する鍼治療の効果

Electroacupuncture ameliorates symptoms of paclitaxel-induced peripheral neuropathy

福田 文彦¹⁾²⁾, 伊藤 和憲¹⁾²⁾, 石崎 直人¹⁾²⁾, 湯川紗世子¹⁾, 須見 遼子¹⁾, 北小路博司²⁾, 田口 哲也³⁾, 玉木 康博³⁾, 野口眞三郎³⁾, 井倉 技¹⁾, 伊藤 壽記¹⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科 生体機能補完医学講座

2) 明治国際医療大学 臨床鍼灸学教室

3) 大阪大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学講座

Peripheral neurotoxicity is one of the common side-effects of chemotherapy. Patients are sometimes unable to complete full or optimal treatment schedules because of the development of paclitaxel-induced neuropathy. In the present study, we evaluated the efficacy of electroacupuncture for symptoms of paclitaxel-induced peripheral neuropathy. Eleven patients with peripheral neuropathy of hands and feet due to chemotherapy were treated with electroacupuncture. Six times for 10mins of once a week. In this study, six acupuncture points, such as SP9, SP6, GB34, GB39 and LV3, were adopted.

At the end point of this study we observed a significant reduction in the VAS (from 57.5 +/- 31.2 mm at the baseline to 36.1 +/- 32.4 mm at the end). Of 22 feet (bilateral foot of 11 patients) examined at the beginning of the treatment, 5 in the dorsum and 4 in the sole revealed diminished sensation. Of those with abnormal sensation, 2 in the dorsum and 4 in the sole reversed into the normal range after completion of the treatment, although 2 in the dorsum and 3 in the sole which were in normal range at the beginning showed abnormalities the end of the study.

Electroacupuncture is a useful, safe and non-pharmacological alternative for treating paclitaxel-induced peripheral neuropathy.

【はじめに】

パクリタキセルは、がん化学療法の一つであるが、薬剤の種類によっては用量に応じて、骨髄抑制・末梢神経障害・筋肉痛・関節痛といった有害事象が生じることが知られており、それらの有害事象のために QOL が損なわれ、休薬や投薬の中止を余儀なくされる症例が多く存在している。そこで本研究では、パクリタキセル投与に伴い出現した末梢神経障害に対する鍼治療の効果と安全性について検討した。

【方法】

パクリタキセル投与により下肢に末梢神経障害が発症した患者 11 名を対象とした。鍼治療は、下肢の経穴 5 カ所(左右 10 カ所)に週 1 回の間隔で 6 週間を行った。治療効果の評価には、主観的評価として VAS (visual analogue scale), 客観的評価としてタッチテスト(足背・足裏)を用いた。

【結果】

治療開始時、VAS は 57.5 ± 31.2mm (mean ± SD)であり、タッチテスト(11 例 × 左右 = 22 例)で感覚異常を示した患者は、足背 5 例、足裏 4 例であった。鍼治療の結果、VAS は 36.1 ± 32.4mm まで有意に軽減した。タッチテストは、感覚異常が改善した患者は足背 2 例/5 例、足裏 4 例/4 例であったが、正常から感覚異常を示した患者は足背 2 例/17 例、足裏 3 例/18 例であった。一方、治療期間中に鍼治療による有害事象は認められなかった。

【考察・結語】

パクリタキセルに伴う末梢神経障害に対して補完医療として鍼治療を行った。その結果、下肢の末梢神経障害は主観的にも客観的にも改善を示した。このことから、パクリタキセルに伴う末梢神経障害に対して鍼治療を取り入れることは安全で有効な補完医療となりうることを示唆された。